

在籍校にソフトランディングするための支援

小学生を対象とした「きぼう」では、6週間の集中指導を行っています。その6週間のうち2週目、4週目の金曜日、子どもたちは在籍校へ登校します。登校する前、子どもたちは緊張や不安が高まりますが、それら心理的負担をやわらげ、在籍校や在籍学級で先生や友達とよい関係性を築き、安心して過ごすことができるような支援に取り組んでいます。

在籍校登校前日

<在籍校ガイダンス>

学校名	いわにし	しょうがつ	9	がつ		にち
5	ねん		くみ		なまえ	0
きょうか						
1	たいいく (TAIKU)					
2	しゃかい (SYAKAI)					
3	りか (RIKA)					
4	かていか (KATEIKA)					
【きゅうしよく (KYUUSYOKU)】						
【そうじ						
5	でまえこう					
6	がつか					
かえる じかん	16:00					

もちもの どれですか? ○を かきましょう。						

自分で時間割を見て、持ち物に○をつけて確認します。

登校日前日には、在籍校から送られてきた時間割を確認しています。

具体的には、時間割を見て必要な持ち物を準備する練習をします。学習内容も併せて事前に知ることで、不安が軽減され、参加意欲が高まります。

給食の献立も伝えています。「(給食を)減らしていいですか」という学習した日本語を使ってみよう等、それぞれの目標をもって在籍校へ行くことができます。

<オンライン交流>

teams を使って、在籍校と交流をしています。在籍校と相談し時間を決めて、登校前日に担任の先生に簡単に自己紹介をしたり、「明日、行きます。」と伝えたりしています。担任の先生の顔を覚えたり、クラスの授業や休み時間の様子を見たりすることで、子どもたちの不安な表情が一気にやわらいできます。



在籍校登校日

<ミッションカード>

きぼう

ミッションカード

～先生方へ～
1から4までのミッションを、2週目と4週目に在籍校へ戻った時のミッションとしてチャレンジさせたいと思います。ご理解とご協力をお願いします。

() しょうがつ () ねん () くみ ()

① じこしょうかい を する。 OK→せんせいの さいん を もらう。	② くらす の せんせい に きく。 () せんせい。 「どんな いろ が すき ですか」
③ 子どもたちの さいん を もらう。 「さいん かいで」 3にん	④ こくさい の せんせい に きく。 () せんせい。 「すき な たべもの は なんですか」

在籍校登校では、「きぼう」で覚えた日本語を使う場面を設定し、運用力を高めるためにミッションを課しています。1回に2つずつ、計4つのミッションがあります。

2週目は、①自己紹介をすること、②担任の先生に「どんな色が好きですか。」と聞くことです。4週目は、③クラスの3人の友達に「サインを書いてもらう」、④国際の先生に「好きな食べ物は何か。」と聞くことです。

翌月曜日に在籍校から戻った児童のノートにはたくさんの友達や先生のサインが書いてあります。子どもたち同士「たくさんの先生や友達と話した。」とノートを見せ合っています。こうして少しずつ日本語を使うことの楽しさを経験し、自信を付けていってほしいと思っています。

在籍校登校後

<振り返り>

登校後の振り返り学習では、在籍校で「①楽しかったこと②わからなかったこと③これから覚えたい日本語④これからがんばること」を書いています。

楽しかったことは、「体育が楽しかった」「理科が好きです」など学習したことや、「おにごっこをしました。」「遊びました。」など休み時間に友達と遊んだことなどが書いてあります。わか

らなかったことは、「先生が黒板に書く文字」という子が多くいます。しかし一方で、教室での経験が片仮名や漢字に興味をもつきっかけにもなります。文字の学習は難しいと感じているようですが、これから覚えたいことに「片仮名、漢字を覚えたい。」と書いている子もたくさんいます。そして、がんばりたいことは「もっと日本語を話す。」などが書いてあります。在籍校へ行くことで、今後の学校での生活をイメージすることができます。

こうした学習を通じて、もっと日本語をがんばろうとする意欲が高まり、「きぼう」での学習につながっています。

修了の会

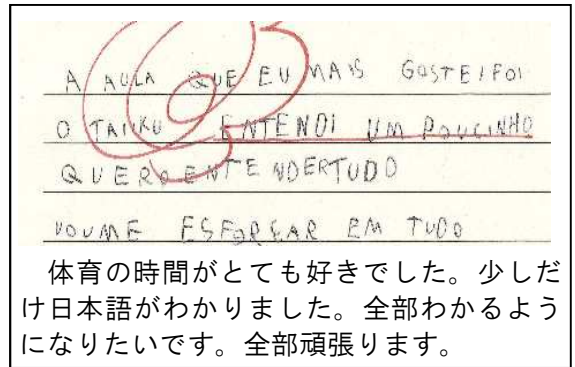
6週目には修了の会を行い、在籍校の先生や保護者の前で学習した成果を発表しています。

まず、日本語を使って自己紹介をします。そして、6週間で学習した算数のかけ算や社会「自分の国を紹介しよう」、理科「観察したこと」の学習のまとめを発表したり、平仮名カードを読んだりしています。

母語で母国での生活や日本に来た時の気持ち、在籍校に行った時の気持ちなどを作文に書き、発表もしています。まとまった文を書くのが初めての経験という子どもがほとんどです。自分の気持ちをうまく書き表すことが難しいため、バイリンガルの先生たちの支援を受け、やり取りを通して考えをまとめながら母語作文を書きます。

また、保護者に向けて日本の学校についてのガイダンスを行い、これからの在籍校での学習や学校生活、宿題、集金のことなどを伝えています。

「きぼう」修了後は在籍校に、子どもたちが学習した内容や「個別の指導計画」を伝えています。情報を共有することで、スムーズに学校生活に適應することができるように支援しています。



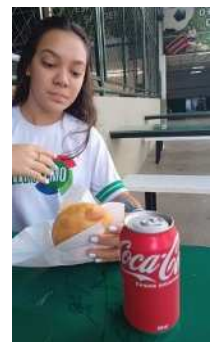
体育の時間がとても好きでした。少しだけ日本語がわかりました。全部わかるようになりたいです。全部頑張ります。

増野バリエリア相談員のブラジル紹介



Bom dia! バイリンガル相談員の増野バリエリアです。今回は、来日したばかりのブラジルの子どもたちにとっての異文化である「給食」についてお話したいと思います。

まず、給食の時間です。ブラジルの学校では9時半頃におやつのあるので、子どもたちは学校へ来る前に朝ごはんを食べません。食べるとしても、クッキーと飲み物(牛乳、コーヒー等)だけです。そして、11時半頃から給食を食べます。ですから、日本の学校で3時間目が終わる頃にお腹が空いてしまっている子どもが少なくありません。



それから、給食のメニューです。ブラジルの学校では日本のような給食がありますが、学校にあるお店でお菓子やジュースを買うこともできます。そのお店には地元の新鮮な食材を使ったスープやピザ、様々な種類のサンドイッチやケーキなどがあります。また、家からお弁当(果物、ケーキ、パン、お菓子、ジュースなど)を持ってくる子どももいます。子どもたちは、昼ごはんは何を食べるかその日の気分で楽しみながら選ぶことができます。そして、それが子どもたちの1番の楽しみでもあります。ですから、日本の学校で皆が同じ物を同じタイミングで食べることに戸惑う子どもたちもいます。



しかし、子どもたちはいつしか「日本の給食大好き!」と言います。(私もそうでした㊟) 子どもたちが日本の文化や習慣に慣れるまでには時間がかかることがありますが、その成長を見守っていただけると嬉しいです。